

梅鶯仏教壮年会報

第99号
2012年
8月26日

十月六日（土）

法輪寺（梅鶯仏教協賛）

親鸞聖人七百五十回

大遠忌法要

法要

午後二時 午後三時半
やなせななコンサート

蓮と鶏

金子みすゞ

泥のなかから
蓮が咲く。

それを
するの
は
蓮
じゃ
ない。

卵の
なか
から
鶏
が
出
る。

それを
する
の
は
鶏
じ
ゃ
な
い。

それ
に
私
は
気
が
つ
い
た。

それ
も
私
の
せ
い
じ
ゃ
な
い。



「イジメ」に思う（特別寄稿）

北村喜代信

2011年10月に、大阪市の中
学校で2年生の男子生徒がいじめが
原因で自殺をした。

いじめの内容や学校・教育委員会
などの対応が明るみになり、波紋が

広がっている。というニュースを
皆さん既に聞き及ぶだと思う。

全国各地で似たような事件が起こ
っている。先日、中日新聞に、長

女の求めで「いじめた」男児を殴つ
た男に罰金30万円の判決が下った

という記事が掲載された。

判決に際しては、娘をイジメから
救いたい、安心して学校に通わせ

たいという子と思う親の感情は一定考
慮されたようだ。

この父親の行動は、大人気ない所
作と一笑に付せない出来事と思う。

私は、男児を殴った男の心情に同感
する。

現実の世の中ではイジメや差別、
不平等は、あると思っている。

私の体験から思うのだが、世
間一般に言われる「かなりな人物」

でも妬みや嫉み、そして意地悪な心
はお持ちのようだ。ましてや、私を

含め普通の人には、そういう心を持
ち合わせていることは当然のこと

であらう。

しかし、もちろんそういう社会
を是認しているわけではなく、そ

れらがいない社会を目指す努力も必
要だと思っている。

ところで、私の二歳下に妹がい
る。今は、孫が5人いるええ年の

オバヤンだ。今の彼女に妹という
かわいらしい響きのイメージがな

いが、とにかく、この妹が小学校
3年生のときにクラスの悪ガキ三

人にいじめられたことがあった。
理由は忘れたが、きつと私に似

て美形だったからだろう。私は兄
として何とかせねば、助けなけれ

ばと思ったことは確かだった。

そこで、私は、上記のお父さん
と同じことをやった。目には目を

歯には歯だ。そしたらイジメはピ
ツタと止んだ。

人間社会、どこでも力関係はあ
る。イジメや差別など、そういう

のを消し去るのも難しい現実だ。
ただ現実には現実として受け止め、

自分の中でどのように対応してい
くかが大切だと思っている。

それには、一人で抱え込まず、
誰かに相談し、一緒になって問題

解決の糸口を探るのが肝要だと思
う。

（米原市議会 副議長）

※前号からのつづき



光
明
名
号
顯
因
緣

行者正受金剛心
慶喜一念相応後



のため、に説き出され、
悦ばれ詠われるのです。

